

研究課題 (テーマ)		部分浴が前頭前野の脳血流に及ぼす影響	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部	講師	山崎 智可
分担者	富山大学医学部医学科	教授	堀 悦郎
研究結果の概要			
<p>看護の現場では、患者の清潔保持の方法として、入浴の他にも身体を拭く清拭や手足を湯に浸す手浴や足浴といった部分浴が行われています。これらの部分浴は、手や足を清潔にするだけでなく、湯に浸していない部分の血行を促進し、血圧を低下させるといった全身への効果も報告されています。</p> <p>近年では、近赤外分光法により、脳の活動を測定できるようになりました。この方法では、酸素化ヘモグロビン濃度を測定して脳活動の指標としています。これまでの研究から、手浴や足浴といった部分浴により、脳活動が上昇することが明らかになっています。</p> <p>我々は、脳活動に対するより効果的な方法を模索した結果、手首まで湯に浸す手浴よりも肘まで湯に浸す前腕浴の方が、良いのではないかと考えました。これは、前腕浴の方が湯に浸す面積が大きいからです。</p> <p>そこで本研究では、前腕浴が脳活動に及ぼす影響について検討しました。</p> <p>研究参加の条件は、健康診断で異常のない方、かつ、右利きの方としました。</p> <p>研究に参加していただいた方には、前腕浴を行う日（前腕浴）と前腕浴を行わない日（非前腕浴）の2日間、研究に参加していただきました。</p> <p>前腕浴日は両腕の肘までを湯に浸してもらい、非前腕浴日は両腕を湯に浸す行為のみをしてもらいました。いずれの場合も、前頭前野（前額部）の脳活動を近赤外分光法により測定しました。なお、脳活動は安静時との変化を測定しています。</p> <p>実験の結果、前腕浴を行った方が、前腕浴を行わない場合より前頭前野の活動が上昇する傾向があることが判明しました。この結果は、前腕浴が脳の活動を上昇させる可能性を示唆しています。脳の中でも前頭前野の活動は加齢により低下することが知られており、高齢者の脳活動を刺激する方法として、前腕浴が効果的である可能性が考えられる結果です。</p> <p>なお、詳細な分析結果は、後日国内での学会に発表予定です。</p> <p>最後に、本研究にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。</p>			
今後の展開			
<p>今回の研究によって、部分浴である前腕浴が、前頭前野の活動を上昇させる傾向があることがわかりました。今後は、高齢者の方を対象にご協力いただき、前腕浴が高齢者の方の前頭前野の脳活動に与える影響について検討する予定です。また、脳活動の上昇と、日常生活するうえで必要な能力である記憶力、注意力、物事をやり遂げる遂行能力などとの関連性についても検討予定です。</p>			